

調査実施の阻害要因の改善方法

(1) 届出者の利便性向上

問合せや問題事項		現行の調査方式による改善案	オンライン化による改善案
カテゴリー	内容		
記載内容に関する事項	記入方法がわかりづらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見づらくなる) ○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインによるインタラクティブなインターフェイスの設置で対応することも可能。
	医籍登録番号が不明	厚生労働省の照会先を明示(⇒厚生労働省への照会が集中する可能性あり)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対応不可。 ○ 登録番号不明に対しては、不明欄の設置及びオンラインでの確認機能付加などが技術的には可能。
	住所欄が小さくて書ききれない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住所欄を大きくする(全体のレイアウトが 1 面で収まらなくなる可能性あり) ○ 郵便番号で町名までを代用する等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子化されたフォーマット及びレイアウトで問題解決
	診療科目に該当するものがない 自宅電話番号を書きたくない	法廷事項につき対応不可	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化による対応不可 ○ オンライン化による対応不可

	<p>届け出票の住所は現住所か住民登録や本籍地等か</p> <p>免許再交付のため、最初の登録年月日が不明</p>	<p>実際に居住している現住所</p> <p>厚生労働省の照会先を明示 (⇒厚生労働省への照会が集中する可能性あり)</p>	<p>○ 電子化されたファイルに入力する際に popup 等で確認</p> <p>○ 登録番号をもとに登録年月日をチェックするプログラムを組込む。</p> <p>○ 登録年月日不明に対しては、不明欄の設置及びオンラインでの確認機能付加などが技術的には可能。</p>
<p>届出者の属性に関する事項</p>	<p>12月31日が休診の場合の届け出の必要性如何</p> <p>12月31日に死亡した場合の届け出の必要性如何</p> <p>海外在住医師の届け出の必要性如何</p>	<p>○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる)</p> <p>○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載</p> <p>○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる)</p> <p>○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載</p> <p>○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる)</p> <p>○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載</p>	<p>○ オンライン化による対応不可</p> <p>○ FAQ の設置</p> <p>○ オンライン化による対応不可</p> <p>○ FAQ の設置</p> <p>○ オンライン化による対応不可</p> <p>○ FAQ の設置</p>

	引退した医師や業務に従事していない医師の届け出の必要性如何	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQのサイトを立ち上げ、裏面にURL記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ FAQの設置 ○ オンライン化により、医療機関等にアクセスのない者でも届出が容易にできる
届け出票のフォーマット等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 届け出票の数が足りない ○ 届け出票はコピーでも可能か 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余分に配布(⇒調査票の全体が足りなくなる) ○ コピーの推奨 ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQのサイトを立ち上げ、裏面にURL記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化により届出票が不要 ○ PDFファイルによるダウンロードを可能とする ○ オンライン化により届出票が不要
届け出の経路に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常勤医師・複数の医療機関に勤務する医師の届け出の提出先保健所(管轄地域の問題)について ○ 複数の医療機関に勤務の場合の届け出方法如何 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登録し、次回より検討 <p>☆基本的には現住所管轄の保健所宛て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化により届出票が不要 ○ PDFファイルによるダウンロードを可能とする ○ チェックプログラムにより、現住所を管轄する保健所に自動的に振り分ける機能を付加することが技術的には可能

	代理提出が可能か	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQのサイトを立ち上げ、裏面にURL記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化の際により注意しなければならぬ。 ○ 代理記入の委託が成り立つか。
届け出票の入手、提出について	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファックスによる提出は可能か 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQのサイトを立ち上げ、裏面にURL記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファックスの変わりに郵送、オンラインによる届出等を検討可能
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 届け出票が送られてこない ○ 所定の用紙でなくともよいか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登録し、次回より検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化により届出票が不要 ○ PDFファイル等をダウンロードすることにより届出票の入手可能
その他	提出義務の根拠如何?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に提出してもらう ○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQのサイトを立ち上げ、裏面にURL記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化により、旅行先からでも提出可能。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 返送費用を負担したくない ○ 県職員が回収に向くべき 	対応不可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化により、インターネット等を経由した提出を可とし、費用や作業の負担を軽減。 	
	医師法等	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化に関係なし 	

	<p>医師兼薬剤師等の複数資格保持者の届け出方法如何</p>	<p>双方届出</p>	<p>○ オンライン化に関係なし</p>
	<p>プライバシーの侵害にあたり提出したくない</p>	<p>地域保健、医療行政上の意義を説明</p>	<p>○ オンライン化によるセキュリティの強化</p>
	<p>保健所職員が電話で内容紹介するのは失礼ではないか</p>	<p>対応不可</p>	<p>○ フォーマット等の電子化により、提出の事前チェックプログラムを実施し、照会の発生を軽減。</p>

(2) 保健所における利便性の向上

問合せや問題事項		現行の調査方式による改善案	オンライン化による改善案
カテゴリー	内容		
届け出票の配布・回収について	薬剤師を中心に未就業者の実態把握、届け出票の配布・回収が困難	○前回調査時の記録保存(⇒統計法上可能か?)	○オンライン化による回収経路の選択を増加させる
	催促しても提出されない、連絡が取れない	○対応不可	○オンライン化による対応は不可
	住居地で提出しているが従事先で提出しているかが不明	○ 対応不可、時間と人手があれば本人照会 ～相手方保健所照会 ☆ 原則住居地で提出	○届出票が電子的に管理されている場合、技術的には、他の保健所に照会することが容易になる。
届け出率に影響をもたらす要因	届け出票の配布を郵送で行っているが、郵送料の予算立てがなく負担が大きい。	○ 郵送料の予算立て (他予算の活用、国・県への協力依頼)	○ オンライン化の活用により郵送費用の軽減。 ○ PDF ファイル等によるダウンロードを実施することで郵送費用の軽減。
	医療施設の廃止等の事態	担当係との連絡の緊密化?	○ オンライン化によるメリットはなし?
	未就業者及び一部の就業者における届け出義務の意識が低い	広報強化、周知徹底	○ メール等によるリマインド ○ 就業者に対しては、事業者による一括届出等の方法も技術的には検討可能。 (CSV 方式による一括入力等)
提出拒否		広報強化、周知徹底、罰則適用	○オンライン化によるメリットはなし?

	<p>未提出者に対する実害がない</p> <p>返信用封筒、切手等の予算立てができない</p> <p>提出期間が短い(12月31日～1月15日)</p> <p>配布と回収が年末年始をはさみ、問合せへの対応が十分できない、届け出用紙の紛失等が発生しやすい</p>	<p>法律違反に基づく罰則等の適用</p> <p>○ 郵送料の予算立て (他予算の活用、国・県への協力依頼)</p> <p>(改善困難?)</p> <p>時期を変更する(⇒実際には法律事項のため、変更は容易ではない)</p>	<p>○ 直接関係はないが、保健医療に関するネットワークの利用で医師認証が利用できなくなる等の密接に関係する事項での罰則を設定することも可能</p> <p>○ 電子化の推進により、郵送料・封筒等不要となる。</p> <p>○ 早期からのフォーマット開放、提出期限中の自動送付やリマインド機能付加</p> <p>○ オンライン化による FAQ の設置で対応可能。</p> <p>○ 電子化で届出用紙不要となるため、紛失の心配がない</p> <p>○ PDF等による届け出用紙のダウンロードが可能なたため、紛失しても再配布に手間暇がかからない。</p>
<p>回収上の問題</p>	<p>届け出率向上のため、届け出票の配布及び提出の督促等の作業負担が大</p>	<p>現状維持?</p>	<p>○ 電子化された届出票の提出により、届出状況の把握が容易。</p> <p>○ 連絡等もメールで可能という選択肢が増大</p>

	提出期限後の提出が多い	改善案特になし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特段のメリットは少ない ○ メールによる早めのリマインド実施 ○ オンライン化により郵送時間の短縮は可能(1-2日程度)
	提出期間が短期間であり、業務が集中	人手の強化(⇒そのための予算もない)	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化による回収業務の負担軽減、審査業務の負担軽減等
	提出の有無の確認が困難	改善案特になし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 届出票の電子化により、提出状況の確認が容易になる
届け出票の記載内容の確認に関する問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医籍番号と登録年月日の整合性がない。 ○ 記載漏れがある ○ 医籍番号と取得年月日の整合性がない、不一致である等(外国籍者で帰化した者、免許の再交付を受けた者等に多い) ○ 生年月日と登録年月日の相違、記入漏れ 	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子的に作成後、送信する前のチェックプログラムの実施で記載漏れを防止 ○ オンラインによる提出前に資格確認を行うことにより、医籍番号/登録年月日が正しいことを確認 ○ チェックプログラムにより、医籍番号と登録年月日の相関係の確認 ○ 電子的に提出された医籍番号と登録年月日の記入漏れ及び正確性を保健所が機械的に確認するプログラムの導入
	届け出票の重複提出	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ○ 届出票の電子化により、提出状況の一覧性が向上するとともに、重複提出の確認等が容易になる。

	<p>住所の記入の扱いが不正確(住所欄に住民登録地を記載)</p> <p>○ 自宅電話番号の未記入</p> <p>○ 診療科の未記入</p> <p>診療科の複数選択</p> <p>医籍登録番号の右詰記入がなされていない</p>	<p>現状維持</p> <p>現状維持</p> <p>回答欄のレイアウトの調整</p> <p>○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる)</p> <p>○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載</p> <p>現状維持</p>	<p>○ チェックプログラムにより、記入住所地と勤務先、提出先保健所を確認</p> <p>○ チェックプログラムにより住所地と電話番号(局番等)等の相関を確認</p> <p>○ チェックプログラムにより提出前に記入漏れの確認を行う</p> <p>○ チェックプログラムにより複数選択ができないようにする</p> <p>○ チェックプログラムにより自動修正</p>
<p>調査項目の改善</p>	<p>記入の乱筆</p> <p>調査項目を簡素化するべき</p> <p>○ 従事先名の振り仮名等の省略</p> <p>○ 住所を市町村までとし、番地等を省略</p> <p>調査を医師会等に委託しては?</p> <p>電話番号記入欄の廃止</p>	<p>○ 活字化により改善</p> <p>○ 郵便番号の入力で住所の大部分を自動入力&振り仮名の簡易化</p> <p>○ オンライン化によって、業務量の軽減を図りながら、保健所に情報が集まる体制をつくる。</p> <p>○ 提出前のチェックプログラムの実施により記入漏れの防止</p>	

	住所欄、勤務地住所欄が小さく書きづらい	レイアウトの変更 (⇒記入者負担のため、レイアウトの肥大化は抑制したい)	○ 調査票のフォーマット及びレイアウトの電子化により解決
医籍登録の記入に関する誤解が多い	○ 裏面の注意事項に明記(⇒裏面の記載事項が多く見ずらくなる) ○ FAQ のサイトを立ち上げ、裏面に URL 記載	○ 電子化にあたって、記入時に popup 等を出すことにより注意の喚起及びチェックプログラムによる整合性の検証を実施	
調査対象者の把握が困難	○ 3 師調査結果の目的外使用の包括申請により地域保健業務の効率化 ○ 医療監視等によって得た情報を活用	○ オンライン化によるメリットは特になし	
厚生労働省による統計調査に関する広報の実施を要望	広報の実施、強化	○ 厚生労働省のホームページからも申請画面にリンク ○ 登録メール等に対するリマインド機能(前回調査実施時に任意でメールアドレスを記入させる)	
調査の期間延長(2年ごと⇒5年ごと)	法律事項により不可	○ オンライン化、電子化による保健所業務の負担軽減	
届け出様式をオンライン化		○ オンライン化により対応	

	届け出の提出先を従事先を管轄する保健所とすること		<ul style="list-style-type: none"> ○ 届け出票フォーマットの電子化により、入力された住所地により自動的に振り分け機能を持たせる ○ 住居地、勤務地により正・副の提出をすることも可能
主たる診療科目欄を削除してほしい	解答欄のレイアウト変更で対応可能か？		<ul style="list-style-type: none"> ○ 届出票の届出前のチェックプログラムにより、自動的に確認、処理させる ○ オンライン化によって、業務量の軽減を図りながら、保健所に情報が集まる体制をつくる。
主たる診療科目欄が「現状にそぐわない	院外掲示は法定科目に限られている		<ul style="list-style-type: none"> ○ 対応不可

(4) 都道府県、特別区、保健所設置市にとっての利便性の向上

問合せや問題事項		現行の調査方式による改善案	オンライン化による改善案
カテゴリー	内容		
届け出率に影響をもたらす要因	届け出票の入手方法に限られていること	医師会や区役所、病院などへの設置 (⇒枚数に制限あり)	<ul style="list-style-type: none"> ○ PDF ファイルのダウンロードによる届出票の配布などで入手方法の選択肢を拡大 ○ オンライン化した場合、調査票自身が必要になる
	未就業者の届け出義務の意識が低いこと	広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールによる個別のリマインド等
	国からの届け出票の到着日が遅い		<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化による全国均一実施(表示) ○ オンライン化により届出票自身が必要となり、到着日による影響が軽減化される
	実質的に罰則が機能していないこと	急激な罰則強化やペナルティの発効は困難	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペナルティというよりは、オンライン化に対応した(+αの)メリットが享受できない体制の実施(保健医療ネットワークの利用につき、医師認証が行えない等)
	調査票にプライバシーに関する事項が含まれていること(自宅の電話番号等)		<ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインによるセキュリティの強化 ○ 提出前のチェックプログラムの実施

届け出率改善の方策	行政側の予算の有無と職員の根気		○ オンライン化により、保健所・都道府県等における業務の軽減、郵送費等の予算の軽減
	インターネット経由の届け出	今後対応を検討	○ オンライン化をインターネット経由で実施することで対応
	免許の更新制度導入	現状困難？	○ オンライン化に特段の関係なし？
	広報の強化、大学教育	対応	○ メール等による個別のリマインド、アプローチ等 ○ 保健医療関連のMLやWEBサイト等への広告掲載等
	届け出義務者の名簿作成	○ 3 師調査結果の目的外使用の包括申請により地域保健業務の効率化 ○ 医療監視等によって得た情報を活用	○ オンライン化によるメリットは特になし
	配布時期の前倒し	検討の可能性？	○ オンライン化による全国均一実施(表示) ○ オンライン化により届出票自身が必要となり、到着日による影響が軽減化される
	統計調査の名称変更 (届け出義務のあるものに「調査」とするのは不正確)	検討の可能性？	○ オンライン化に関係なし

取りまとめ上発生する問題	配布から回収までの期間が極めて短い	検討の可能性？	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化での貢献度は少ないが、郵送に要する日数が短縮可能(2-3日程度)
	回収後の業務量に対し、厚生労働省への提出期間が極めて短いこと	検討の可能性？	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン化にあわせて提出前のチェックプログラムを実施することにより、審査が容易になるとともに、照会必要件数が減少し、業務量の軽減に役立つ。 ○ 審査を機械化することで、業務量の大幅軽減に役立つ。
	締め切り後の提出が多い		○ メールによる早めのリマインド実施
	枚数の確認が大変	現状維持？	○ 機械化により大幅な業務改善が期待できる
	ナンバリング作業が大変	現状維持？	○ 機械化により大幅な業務改善が期待できる
	枚数が多すぎて、保管場所の確保が困難	現状維持？	○ 電子化により、大幅な改善が期待できる
	同一人物からの重複提出の審査が困難	現状維持？	○ 機械化により大幅な業務改善が期待できる
	度重なる提出督促に応じない対象者の取扱い	現状維持？	○ オンラインでの対応は難しい

	届出漏れの確認方法がないこと	現状維持？	○ 昨年度提出者との照合・比較が容易（昨年度提出者の名簿保持が可能であれば） ○ 医療監視等の調査との照合
統計調査の運用上の要望	重複届出の確認方法の提示	現状維持？	○ 機械化により大幅な業務改善が期待できる
	ナンバリング作業の軽減化	現状維持？	○ 機械化により大幅な業務改善が期待できる
届出のオンライン化に関する要望	インターネットによる届け出制度の導入	対応を検討	○ 導入
	調査実施の予算化	検討の可能性？	○ オンライン届出や PDF ファイルの WEB 掲載により、郵送費用を軽減
	届出用紙の PDF ファイルダウンロードサービスを実施	対応を検討？	○ 技術的に実施可能
	回収後の審査・照会作業軽減のため、オンライン化及びチェックプログラムの実施を検討	対応を検討？	○ 技術的に実施可能
	市町村別の調査結果の早期公表	○ 地域保健に活用する情報を活用するため、調査結果の目的外利用を包括申請 ○ 県別・市別独自調査の同時実施等	○ オンラインで電子化された情報を収集することにより、情報を容易に加工することが可能。

オンラインによる届出システムのモデルの概要

	届出形式	調査票入手方法	調査票の入力操作 (ユーザーインターフェイス)	調査票送付方法または届出方法	調査票 データ形式
① メール添付方式	PDF文書	調査票ダウンロード	紙媒体のイメージで入力 (形式的なエラーチェックに不向き)	電子メールの添付ファイル (メールの操作方法、添付ファイルの利用法を習得する必要あり)	PDF
② プログラム組立方式	専用画面	必要なし (所定項目の事前埋め込みが可能)	紙媒体に近いイメージで入力 (形式的なチェック、内容チェックが可能)	「送信」ボタン操作 (まとめ申請等の大量一括データの送信にも対応可能)	XML
③ アップロード方式	PDF文書	調査票ダウンロード	紙媒体のイメージで入力 (形式的なエラーチェックに不向き)	インターネットでアップロード	PDF
④ ブラウザ方式	専用画面	必要なし (所定項目の事前埋め込みが可能)	紙媒体に近いイメージで入力 (形式的なチェック、内容チェックが可能)	「送信」ボタン操作	XML HTML
⑤ e-Tax方式 (参考事例)	専用画面	必要なし (所定項目の事前埋め込みが可能)	紙媒体に近いイメージで入力 (形式的なチェック、内容チェックが可能)	「送信」ボタン操作 (送信者確認、改ざん防止の電子署名が可能)	XML

オンラインによる届出システムのモデルによる利便性向上の比較検討

	届出者の利便性	調査者の利便性	届出率向上	届出率向上(共通)
① メール添付方式	<ul style="list-style-type: none"> 届出票がいつでも入手可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙イメージでの確認が可能。 		<ul style="list-style-type: none"> 記入のしやすいレイアウトが可能。 用紙紛失の心配がない。 届出場所に制約されない。 届出期間中であれば届出時間に制約されない。(24時間受け付け)。 配布・回収に関わる事務経費・時間が節減できる。 問合せや照会を削減できる。 広報・督促が柔軟に定期的に行える。 届出状況の把握がタイムリーにできる。
② プログラム組立方式	<ul style="list-style-type: none"> インタラクティブな入力操作(候補選択等)で記入を支援。 形式チェック、内容チェックで記載漏れ、記入ミスを防止。 オンラインでの確認機能で調査の手間をカット。 	<ul style="list-style-type: none"> 届出内容が正確になる。 審査業務の負荷が軽減する。 届出データの再入力が不要。 集計処理の自動化が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 届出項目の事前埋め込みにより届出者の精神的負担が軽減。 	
③ アップロード方式	<ul style="list-style-type: none"> 届出票がいつでも入手可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙イメージでの確認が可能。 		

<p>④ ブラウザ方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタラクティブな入力操作(候補選択等)で記入を支援。 ・形式チェック、内容チェックで記載漏れ、記入ミスを防止。 ・オンラインでの確認機能で調査の手間をカット。 	<p>届出内容が正確になる。 審査業務の負荷が軽減する。 届出データの再入力が必要。 集計処理の自動化が可能。</p>	<p>届出項目の事前埋め込みにより届出者の精神的負担が軽減。</p>	
<p>⑤ e-Tax方式 (参考事例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタラクティブな入力操作(候補選択等)で記入を支援。 ・形式チェック、内容チェックで記載漏れ、記入ミスを防止。 ・オンラインでの確認機能で調査の手間をカット。 	<p>届出内容が正確になる。 審査業務の負荷が軽減する。 届出データの再入力が必要。 集計処理の自動化が可能。</p>	<p>届出項目の事前埋め込みにより届出者の精神的負担が軽減。</p>	

資料

研究者名簿

研究者名簿

主任研究者

島田 直樹 慶應義塾大学医学部 専任講師
(衛生学公衆衛生学)

分担研究者

藍 真澄 東京医科歯科大学医学部附属病院 医員
(内科診療系老年病内科)

研究協力者 (氏名順)

井口 俊秋 (財)医療情報システム開発センター
研究開発部 主任研究員

稲垣 誠一 農業者年金基金 数理役

喜多 鉦一 (財)医療情報システム開発センター 審議役
研究開発部長、標準化推進室長

公文 敦 (財)医療情報システム開発センター
研究開発第2課長

桑野 哲実 栃木県北健康福祉センター 健康福祉部長

近藤 健文 慶應義塾大学医学部 客員教授
(衛生学公衆衛生学)